



米国食肉輸出連合会は、日米の食肉業界の飛躍に貢献できるよう努力しております。

Trader's Be&Po

米国食肉輸出連合会 (USMEF) <http://www.americanmeat.jp>

Volume 004 May 17, 2004

Trader's Be&Poはメールでもお届けします。ご希望の方は、下記にご記入の上、FAX返送してください。

お名前 様 メールアドレス @

FAX番号 03-5542-2912

「Trader's Be&Po」はインターネットでもご覧いただけます。
ご希望の方は、下記URLからダウンロードしてください。
<http://www.americanmeat.jp/publications/tnf.html>

★「Be&Po」とは、Beef(牛肉)とPork(豚肉)を合わせた言葉で、アメリカン・ミートがもたらす豊かな食の世界を表現しています。

BSE関連ニュース

●USDA、新IDシステムの開発を開始

USDAは、新しいIDシステムである、家畜個体識別システム (NAIS) の枠組みを発表した。初期予算の1,880万ドルの2/3をあてて、現在使用中の各IDシステムを生産者との共同で検証する。各生産者とは個別の契約を締結することとなるが、その基準は今後3週間以内に発表、その45日後までに契約を結び、検証に向け早急に生産地IDの発行を始めたいとしている。

生産者のNAISへの参加は、当面は自主的なものとするが、情報の機密保持が完全に確立した後は、全ての生産者の参加を希望するとUSDAのホークス次官は語っている。また、生産者との共同開発も期待しているという。システムの完成には、5年間で5億5千万ドルの費用が見込まれ、ブッシュ政権は2005年度に3,300万ドル(年間必要額の1/3)の予算を認めるよう議会に働きかけている。

NAISの基盤は、連邦政府、州政府、牛肉業界が共同開発した全米動物個体識別プラン (USAIP) で、USDAはこれに定められているデータ基準を使用し、新しいIDシステムの構築を目指す。

※ 2004年5月3日Cattle Buyers Weekly

●USMEF、米国農務省の特定部位除去に関する規則改訂の意見公募にコメント

米国食肉輸出連合会 (USMEF) は、5月7日に締め切られた特定部位等の定義と取り扱いに関する米国農務省食品安全検査局 (FSIS) のコメントに対し、経済的な影響への修正コメントと、小腸を特定部位 (SRM) より除外すべきであるとの意見を提出した。

特にSRMに関しては、FSISが統括するSRMの定義と取り扱いに言及し、回腸遠位部のみならず小腸全体をSRMとして定義していることへの科学的な疑問を提起した。過去の科学研究データでも、異常プリオンの蓄積は回腸遠位部にみられることから、回腸遠位部を除去した後の小腸を製品として食用に供することは、問題ないとされている。

また、これまでも対日オファル・ビジネスを通じ、米国の関係各パッカーは回腸遠位部の安全な除去方法を確立している。



米国食肉市場ニュース

～ 牛肉 ～

牛肉市況(4月26日～30日)

- 週間と畜頭数：66.3万頭(前年比5.6%減)。
- 肥育牛の取引価格(100ポンド[45kg]当たり)：
 - 主要5市場では、平均86.94ドル(先週比1.76ドル高)。
 - 枝肉価格は平均139.35ドル(先週比2.15ドル高)。
- 牛肉価格：先週よりやや低め。歩留まり等級3(YG3)のチョイスは158.82ドル(先週比0.93ドル安)。YG2～3のセレクトは137.46ドル(同2.20ドル安)。
- 肥育牛の重量：先週より低め(先週比6.1%減)。

オクラホマシティーにおける去勢素牛の体重別、100ポンド(約45kg)当たりの価格(US\$)

体重(ポンド)	4月26～30日
400～500	120～136
500～600	107～124.25
600～700	100～114.50
700～800	96.25～102.25
800～1000	87.25～98.75

※2004年4月30日Cattle Outlook (Glen Grimes & Ron Plain)

主要12州¹⁾のフィードロット内頭数²⁾、前年比0.3%増
(2004年4月1日現在)

	2004年 ³⁾	対前年
3月1日現在フィードロット内頭数 ⁴⁾	10,977	104%
3月導入頭数	1,804	89%
3月出荷頭数	1,966	109%
3月のその他の消失 ⁵⁾	67	108%
4月1日現在フィードロット内頭数 ⁴⁾	10,748	100%

- 注: 1.アリゾナ、カリフォルニア、コロラド、アイダホ、アイオワ、カンザス、ネブラスカ、ニューメキシコ、オクラホマ、サウスダコタ、テキサス、ワシントン
 2.収容頭数1000頭以上。
 3.単位:1000頭。
 4.穀類あるいは他の濃厚飼料を主食とし、セレクト以上として肥育される、と畜用の牛、子牛。
 5.死亡、放牧場への移動、他のフィードロットへの移動など。
 ※2004年4月16日USDA's Cattle on Feed

～ 豚肉 ～

豚肉市況(4月26日～30日)

- 週間と畜頭数：191.2万頭(前年比6.2%増)。
- 肉蓋の現金取引価格：主要市場の価格は、先週比3.50～6ドル高。

100ポンド(約45kg)当りの豚肉製品価格(4月30日/US\$)

主要市場における100ポンド(約45kg)当たりの最高価格(US\$)		185ポンド物(約83.5kg)の枝肉平均価格(US\$)	
	4月30日		4月30日
ベオリア	49.00	東部トウモロコシ地帯	70.17
セントポール	53.00	西部トウモロコシ地帯	70.95
スーフォールズ	55.00	アイオワ・ミネソタ	70.72
ミズーリ中央部	51.75	全国	70.45

製品名	価格(先週比増減)	備考
ロイン	117.80 (+5.30)	トリム1/4インチ
ボストン・バット	97.09 (+7.24)	トリム1/4インチ
ポークベリー	113.00 (+3.00)	14～16ポンド物(約6.3～7.3kg)
ハム	56.00 (前週と同じ)	17～20ポンド物(約7.7～9.1kg)

※2004年4月30日 Hog Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)

業界ニュース

●USDA発行の輸入許可証、差し止め

米国農務省(USDA)が発行するカナダからの輸入許可証について、4月26日、連邦判事から輸入停止命令が下りた。

昨年8月8日にUSDAが発表した輸入可能な牛肉製品等のリストに掲載されていない、ボンレスビーフを原料としたトリミングの輸入が行なわれていたことに対して、連邦判事が輸入停止を指示した。USDAは同トリミングをリストに追加していたものの、連邦判事に正式に提出していなかったようだ。これに伴いUSDAは、発行済の許可証の回収を急ぐとともに、当面トリミングの輸入中止を発表した。

この結果、米国バイヤーが支払い済みの大量のトリミングが国境で足留めされているが、連邦判事の停止命令が出た2週間前には、すでに約200万ドルにおよぶ数種類のトリミングが、アメリカ国内に出荷されたとみられている(Cattle Buyers Weekly予測)。

USDAが予定していた生体牛及び牛肉製品に関する最終規則発表は、これによりさらに2～4週間遅れると関係者はみている。

※2004年5月3日Cattle Buyers Weekly



業界ニュース

●MEF定例総会、オハイオ州シンシナティーで開催

USMEFは5月26日から28日の3日間、オハイオ州シンシナティーで定例総会を開催する。総会は年二回開催され、毎回500人を超えるメンバーが、生産・製造・輸出・行政などの分野から参加する。今回は、世界的トレンドとなりつつある食肉のブランド化、及びその戦略についての討論会と、主要マーケットである日本・メキシコから政府関係者を招聘し、USビーフ・ポークに対する各国の関心事や、米国政府に食の安全面で要望することなど、今後米国にとって参考となる講演が予定されている。

その他、各主要海外マーケット担当者による現状報告や、関連する討論会も予定されている。

イベント情報

●「Yes!アメリカン・ポーク キャラバンカー キャンペーン」を実施

USMEFは、2004年5月から6月にかけて「Yes!アメリカン・ポーク キャラバンカー キャンペーン」を実施します。皆様にアメリカン・ポークのおいしさを体感していただくため、全国の主要6エリアで試食を中心に、アメリカン・ポークの情報やクイズ等のアトラクションを行うイベントカーが、5月19日の東京を皮切りに展開する予定です。

日 時		日 時		日 時		日 時	
5月19日	関東(東京)	5月29・30日	兵庫	6月12・13日	愛知	6月26日	関東(神奈川)
5月22・23日	広島	6月5・6日	大阪	6月19・20日	静岡	6月27日	関東(千葉)